

壁紙施工要領書

- マックライン -

■ 特長

- ・ 50×50mmの方眼のラインが出るようにエンボス加工されていますので、掲示物をまっすぐきれいに貼れます。
- ・ バッキングは紙裏になっていますので、基本的には通常のビニル壁紙の施工と同様の対応ができます。
- ・ 変色、退色しにくく、耐久性にすぐれています。
- ・ 弾力性に富み、ピンホールの復元力が強く画鋲のあとが目立ちにくい商品です。

■ 下地調整

①石膏ボード、ベニヤ合板下地の場合

- ・ ボードおよび合板の継目部分をパテ処理し、平滑にしてください。
- ・ 釘の頭が出ている場合は、下地面より沈めるよう金槌等で打ち込みます。

②モルタル下地の場合

モルタル表面に付着している砂、ホコリ等を取り除き、シーラーで下地調整をして乾燥させてください。

■ 接着剤

- ・ でん粉系接着剤にエチレン酢ビ系ボンドを（石膏ボード、ベニヤ合板で約33%、モルタルで約40～50%）混合して、糊：水＝10：6～7程度を目安にし多めに塗布してください。（水分の多い薄い糊の場合、壁紙が糊自体を吸い込んでしまい、接着力が低下します。水分を余分に吸い込むことで伸び切るまでの時間が長くなったり、フクレの原因にもなります。）

■ オープンタイム

- ・ 接着剤塗布後は、うませ時間は5～10分程度を目安に作業を進めてください。

■なで付け・ジョイント

- ・ジョイントは重ね裁ち（ダブルカット）での対応が充分可能ですが、厚みがあるため、材料に対しカッターの刃を少しねかせて角度をつけてカットし突きつける方法もジョイントの目立ちが少なく有効です。
- ・出入隅は厚みがありクセがつかない材料なので納めにくいため、捨て糊をすることも有効です。
- ・切りつけ回りは二度切りか添え切りをして、はめ込むようにして納めた方がきれいに納まります。地ベラを使っての切りつけは、隙間ができるおそれがありますので注意が必要です。（隙間ができた場合、同系色のコーキング剤を施してください。）
- ・S タック等の両面テープ使用の施工でも対応可能です。